

「玖珠・森のクレヨン」／「森の米蔵」基本情報

1. カフェ・レストラン「玖珠・森のクレヨン」:

玖珠米を活用した、食の魅力の発信
鉄道を120%楽しむ展望席

特Aランクの玖珠米や米粉（ひとめぼれ）を使用した食事や、機関車にちなんだ多彩なメニューを提供し、ここでしか体験できない味で地産地消を目指します。

店内からは、「ゆふいんの森号」などの電車を間近に見られます。

営業時間：（ベーカリー）10:00~17:00

（カフェ・レストラン）11:00~17:00

定休日：月曜日（※祝日の場合は営業）・火曜日

店舗席数：36席



カフェ・レストラン「玖珠・森のクレヨン」（左）と、多目的交流スペース「森の米蔵」（右）

2. 多目的交流スペース「森の米蔵」:

昭和の原風景残る「旧森南部米倉庫」を活用

昭和初期に建てられた土蔵造りの倉庫をリノベーションし、展覧会や音楽イベントなど、様々な目的に使用できる地域の交流拠点となります。



米倉庫をリノベーションした多目的交流スペース「森の米蔵」

現時点では、2棟全体で14名の障害者が就労予定です。

「玖珠町地方創生プロジェクト」の特徴

1. 障害者が地域活性に貢献

玖珠町で初めての就労継続支援A型の施設です。また、就労移行支援事業、共同生活援助事業（グループホーム）も開設します。大分県は障害者雇用率日本一を目指しており、就労継続支援事業所の整備により障害者のはたらく場所を増やす取り組みを行っています。

2. 全国的に珍しい「旧豊後森機関庫」

昭和9年完成の旧豊後森機関庫は現存する扇型機関庫と転車台としては全国的にも珍しく、九州では唯一の場所です。近代化産業文化遺産（経済産業省）認定、登録有形文化財（文化庁）に登録されています。これまで、玖珠町と大分県が協力し観光地化が図られてきました。

日本財団「はたらくNIPPON! 計画」

日本財団は、2015年4月より「就労モデルの構築」と「人材育成」を2本柱として、障害者就労の環境改善を目指し「はたらくNIPPON! 計画」プロジェクトを全国で展開しています。今回の「玖珠町地方創生プロジェクト」も本プロジェクトの一環です。